

〔教育委員会 生涯学習課 所管〕

03020111 児童クラブ運営事業

予算書P. 116

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	181,420	141,995	39,425	
国庫支出金	30,612	26,739	3,873	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
県支出金	30,612	26,739	3,873	子ども・子育て支援交付金(放課後児童健全育成事業)
地方債	0	0	0	
その他	55,211	41,282	13,929	児童クラブ入所負担金
一般財源	64,985	47,235	17,750	

【背景(なぜ始めたのか)】

共働き家庭が増加する中、就労支援対策として、平成4年9月仲町（現守谷小学校）児童クラブの開設をスタートに、平成5年に北守谷（現御所ヶ丘小学校）児童クラブ、平成7年に南守谷（現松ヶ丘小学校）児童クラブを開設し、平成8年度から平成12年度までの間に全小学校に放課後児童クラブを開設した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

留守家庭児童を対象として、放課後帰宅しても保護者（父・母）及び同居親族の就労又は疾病等により留守家庭となる小学生を預り、児童の保護育成と保護者の就業継続に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

放課後から午後7時まで、小学校ごとに整備されている専用室において保育を実施する。

保育スキル向上に向けた取組を実施（保育コンサルタントを配置）し、放課後子ども教室と連携させ、小学校の校庭・体育館・特別教室などを活用し、遊びやスポーツ・文化等の活動を安全にできる居場所づくりを行い、児童の健全な成長発達を図る。

平成24年度から運営業務を民営委託しており、プランマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用し、支援員と連携を図りながら実施する。春休み、夏休み、冬休み及び学校休業日は、保育開始時間を午前7時からとし、サービスの向上を図っている。

平成31年度から、守谷小学校で特別教室を借用して1クラブ増設する。守谷市学校教育改革プランと子ども・子育て支援交付金基準額の増額を受け、児童クラブ入所負担金を見直し利用時間との整合性を図る。

〔運営業務委託〕 株式会社アンフィニ

〔今期委託期間〕 2015年4月1日～2020年3月31日 5年間



フラダンス教室



おもしろ理科実験教室



地域サロンとの交流会

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	67,656	0	67,656	
国庫支出金	43,939	0	43,939	子ども・子育て支援整備交付金
県支出金	11,559	0	11,559	子ども・子育て支援整備交付金
地方債	0	0	0	
その他	12,158	0	12,158	地域福祉基金繰入金【ふるさとづくり寄附】
一般財源	0	0	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

松ヶ丘小学校児童クラブは、平成7年に開設、平成15年に増築したが、利用児童が増加しているため平成30年から、放課後の特別教室を借用して保育している。在校児童数は横ばいだが、児童クラブ利用児童は増加しており、待機児童の発生が危惧される。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

留守家庭児童の保護育成を図るための施設を建設し、保護者の就業継続に寄与する。

借用している特別教室が授業などで使用できず、別室で待機するといった不安定な保育状況を解消する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

松ヶ丘小学校児童クラブ利用者の増加が見込まれ、児童クラブ施設が現在の3教室では不足するため、松ヶ丘小学校内に児童クラブ専用室を2教室新設し、クラブ専用室を4教室にする。

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,500	4,500	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	4,500	4,500	0	

【背景(なぜ始めたのか)】

地域活性化を目的に、県事業の「国際芸術文化交流拠点整備構想（アーカス構想）」を誘致。平成6年度に試行、翌7年度から「アーカス構想パイロット事業」として本格的に開始され、平成12年度から「アーカスプロジェクト」として現在に至る。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

茨城県主催のアーカスプロジェクトに参画することにより、市民に対し芸術文化活動の体験機会を提供するとともに、地域の文化活動の推進と市のイメージアップを図る。

アーティストとの交流機会を提供することで、子どもたちの豊かな心と感性を育てる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

県、市、関係機関からなる実行委員会（県事務局）へ負担金を支出し、下記事業を展開する。

- ・現代アーティストの招へい及び制作支援、活動発表会の開催（レジデンスプログラム）
- ・一般向け、子ども向けアートイベントの開催（地域プログラム）
- ・小学校へのアーティスト派遣事業の実施（地域プログラム）

アーカスプロジェクトの運営に際して、市は主に以下の支援を行う。

- ・作家制作の場としてもりや学びの里を提供
- ・市内イベント活動等の運営支援

・事業広報活動



招聘アーティストによる創作活動の様子

10040110 タベのコンサート事業

予算書P. 212

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,395	1,394	1	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	1,394	△ 1,394	
一般財源	1,395	0	1,395	

【背景(なぜ始めたのか)】

転入者が多く、まちに馴染みのない市民が多くいることから、平成8年、当時の町長から庁舎を活用したイベントの開催が提案されたことから、市役所各課からアイデアを募集したところ、中庭やロビーを活用したコンサートの開催が採用された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民が日常的に芸術に親しみ、生きがいや楽しみを持って生活を送ることで、市に愛着を持ってもらう。(定住意欲を促進する)。また、庁舎で開催することによって、行政を身近に感じてもらう。さらには、プロと同じステージに立つことで、音楽サークルの活動意欲の向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

8月の土曜日の宵(18時から概ね21時)に、合計3回コンサートを開催する。舞台の設営や音響・照明は業者に委託するが、当日の受付や舞台配置などは出演サークルが当番で行う。



市内サークル



プロ出演者

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	23,395	17,528	5,867	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	738	4,693	△ 3,955	もりや学びの里使用料
一般財源	22,657	12,835	9,822	

【背景(なぜ始めたのか)】

旧大井沢小学校の廃校に伴い、その跡地を新たに生涯学習施設として利用するため、平成8年度に「もりや学びの里」を開設した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

世代を超えて利用できるコミュニティ施設として、市民が安全で快適な学習や趣味活動ができる環境を整え、社会教育活動の充実及び推進を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

廃校施設を市民の学習施設としてサークル活動、研修等に活用し、より快適な利用に供するため、設備、機械等の管理(フェンス改修、変圧器更新工事、駐車場整備工事)及び保守点検を実施する。

〔主要施設〕体育館/和室/講座研修室/音楽室/調理室/創作工芸室/バーベキュー施設

〔主な施設管理業務〕建物清掃/自家用電気設備保安管理/自動ドア保守点検/体育器具点検/消防施設点検/植栽管理/施設管理等



もりや学びの里バーベキュー施設

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,821	1,812	9	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,821	1,812	9	

【背景(なぜ始めたのか)】

スポーツ・文化に親しみ、県代表として全国大会等に出場する市民を奨励し、出場に係る経費の負担軽減を図るため、平成14年度に奨励金交付制度を設けた。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

スポーツ及び文化の振興を図り、市民の健康づくりと文化意識の高揚に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

「守谷市スポーツ・文化振興奨励金交付要綱」に基づき、スポーツ又は文化で全国大会出場の功績をあげた個人又は団体に対して記念品と奨励金を交付し、栄誉を讃え、今後、市のスポーツ及び文化の振興と発展に寄与してもらう。



スポーツ奨励金授与式にて
陸上走り高跳び 亀崎晃輝選手



スポーツ奨励金授与式にて
バドミントン 長岡すばる選手

10040122 成人式事業

予算書P. 215

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,050	812	2,238	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	3,050	812	2,238	

【背景(なぜ始めたのか)】

国民的な行事で、多くの自治体で実施されていることから守谷市も実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

新成人者を対象に、人生の節目を記念して成人式を実施し、次代の担い手として今後の活躍を願い祝福する。
新成人による運営委員会を組織し、成人式典を開催する。

祝福を受けることで、成人としての自覚を持ってもらう。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

新成人者で運営協力委員会を組織して、成人式の運営や準備を行政と協働で進める。

[実施日] 2020年1月12日 (日) 常総運動公園総合体育館で実施予定

[該当者] 平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれの方

(参考：平成31年成人式典 該当者数 706人、内出席者数 473人)



はたちの主張



運営協力員

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	51,471	57,738	△ 6,267	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	17,625	11,110	6,515	放課後子供教室推進事業費補助金
地方債	0	0	0	
その他	5,143	5,719	△ 576	放課後子ども教室事業保護者負担金
一般財源	28,703	40,909	△ 12,206	

【背景(なぜ始めたのか)】

児童が犠牲となる犯罪・事件が多発していることから、子ども達が安心して遊べる場や色々な体験ができる場を提供するため、平成19年度から実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

放課後に小学校の施設を活用して、子ども達の安心・安全な活動拠点を設け、異年齢で遊んだり地域の方々に子ども達の活動を支援してもらうことにより、子どもの交友関係の広がりや地域の教育力の向上につながり、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

放課後子ども総合プランとして、放課後児童クラブと連携させ、学校の校庭・体育館・特別教室などを活用し、平日の放課後に児童の健全な成長発達を図っていくための遊びやスポーツ・文化等の活動を安全にできる居場所づくりを行う。

平成24年度から運營業務を民営委託しており、プランマネージャーを中心に、地域ボランティアを活用し、支援員と連携を図りながら実施する。

平成31年度から、利用児童増加に対応するため、守谷小学校・黒内小学校・大野小学校で各1教室ずつ増設する。プランマネージャーは子ども教室と児童クラブを併せて指導しているため、勤務実態に合わせ、運營業務委託料の振り分けを見直す。

〔運營業務委託〕株式会社アンフィニ

〔今期委託期間〕2015年4月1日～2020年3月31日 5年間



カード作り



体験日(ドッチボール)



将棋の様子

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	119,859	122,996	△ 3,137	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	547	14,654	△ 14,107	公民館貸付料
一般財源	119,312	108,342	10,970	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民のコミュニケーション及び生涯学習の場を提供するため、昭和56年に中央公民館、平成4年に郷州公民館、平成8年に高野公民館、平成11年に北守谷公民館を開館しており、その施設を管理・運営するための事業である。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利用者が安全で快適に学習活動や趣味活動等ができる場所を提供する。

指定管理者による管理・運営により、市民ニーズに効果的、効率的に対応し、民間の能力活用とサービス向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市民サービスの向上を図るために、平成24年度から指定管理者による運営を開始した。

[指定管理者]

アクティオ株式会社・守谷市シルバー人材センター共同事業体

[今期指定期間]

2015年4月1日～2020年3月31日 5年間

[指定事業]

各館年間10講座以上、公民館まつり1回

[自主事業]

指定管理者の自己の責任と費用により、実施することができる事業

[平成31年度の特記事項]

中央公民館については改修工事を予定し、4月～3月まで1年間の休館を予定している。



中央公民館



郷州公民館



高野公民館



北守谷公民館

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	689,982	132,895	557,087	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	575,000	119,000	456,000	公民館施設改修事業債
その他	0	0	0	
一般財源	114,982	13,895	101,087	

【背景(なぜ始めたのか)】

中央公民館は昭和56年に建築され、市民に充実した生涯学習の場を提供するとともに、守谷市の文化芸術の拠点としての役割を担ってきたが、築後35年以上が経過し、設備の老朽化により運営に支障を来すことを危惧しているため、平成29年度から実施設計を行い、平成31年度から改修工事を行う。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利用者が安全に安心して利用できるよう施設・設備の改修工事を実施し、快適な学習活動や趣味活動等の場を提供する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

中央公民館の老朽化に伴い全面改修工事を行う。平成31年4月から着工するため1年間休館を予定している。

[主な工事(予定)]

空調機入替、ホール改修(舞台装置、音響設備、照明器具等)、屋上防水、外壁塗装、便所改修、内装改修等

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	107,220	187,422	△ 80,202	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	30,130	1	30,129	教育文化振興基金繰入金【ふるさとづくり寄附】
一般財源	77,090	187,421	△ 110,331	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民の強い要望に応え、平成7年5月に開館した守谷中央図書館は、来館する人々にとってゆとりある快適な空間として親しまれており、その施設を管理・運営するための事業である。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の文化教養の向上を目指し、自由で公平な資料提供を中心とする図書館活動により、文化の発展に資する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市民の様々な学習要求に応え、市民サービスを向上させるとともに、幼児から成人までの幅広い資料の収集に努め、市民の要望に応じた資料を収集する。

また、図書館ネットワークを活用した図書の貸出、返却、予約、リクエスト、レファレンスなど質の高いサービスの提供を行う。

さらに、学校図書館との連携を強化するため、平成31年度から図書館の運営を直営に戻して行う。

館別蔵書（平成30年3月31日現在）

（単位：冊）

中央図書館	中央公民館	郷州公民館	高野公民館	北守谷公民館	合計
313, 837	41, 427	19, 567	20, 870	24, 131	419, 832

視聴覚資料（平成30年3月31日現在）

（単位：点）

C D	9, 426
カセットテープ	772
ビデオテープ	3, 347
L D（レーザーディスク）	209
D V D	3, 840
合計	17, 594



一般フロア

雑誌（平成30年3月31日現在）

（単位：種）

中央図書館	中央公民館	郷州公民館	高野公民館	北守谷公民館
233	32	19	18	35

新聞（平成30年3月31日現在）

（単位：種）

中央図書館	中央公民館	郷州公民館	高野公民館	北守谷公民館
32	5	5	5	5

館別貸出（平成30年3月31日現在）

（単位：冊）

中央図書館	中央公民館	郷州公民館	高野公民館	北守谷公民館	合計
686, 671	66, 837	79, 114	82, 249	70, 993	985, 864

10040502 学校図書館活動推進事業

予算書P. 223

（単位：千円）

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	17,304	0	17,304	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	17,304	0	17,304	

【背景（なぜ始めたのか）】

平成18年に策定された「子ども読書活動推進計画」に基づき、平成20・21年度に学校図書館のデータベース化を実施した。以来、学校と連携を取りながら、学校図書館の整備のための支援を行っている。

【目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）】

平成31年度から実施される学校教育改革プランに基づく「中央図書館と学校図書館による学校図書館の充実」を図るため、読書センター・学習センター・情報センターとしての機能の充実に対する支援を行う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

- ・読書センターとしての機能充実のため、図書館資料の活用が図られるよう、団体貸出や学校間相互協力により支援を行う。
- ・学習センターとしての機能充実のため、学校図書館を活用した授業づくり等を実施できるよう、学校司書が資料提供やブックトーク等により授業支援を行う。
- ・情報センターとしての機能充実のため、図書館の電子資料や情報を活用できるよう、中央図書館利用のためのガイダンスを実施する。
- ・学校図書館担当職員が、司書教諭及び学校司書に対する研修等を実施し、専門性を向上させる。

10040503 図書館施設維持管理事業

予算書P. 223

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	26,757	0	26,757	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	26,757	0	26,757	

【背景(なぜ始めたのか)】

平成7年5月の開館から、来館する人々にとってゆとりある快適な空間を提供するため、施設を管理・運営するために開始した事業である。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

利用者に安全で快適な空間を提供するため、老朽化した設備について計画的な修繕等を行う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

来館者に、より快適な利用環境を提供するため、設備、機械等の管理及び保守点検を実施する。

[主な施設管理業務] 建物清掃/自家用電気設備保安管理/自動ドア・昇降機保守点検/消防施設点検/施設管理ほか

10050103 夏休みプール開放事業

予算書P. 226

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,095	1,065	30	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,095	1,065	30	

【背景(なぜ始めたのか)】

夏休み中の小学校プールの有効利用と児童の安全な遊び場の確保を目指し、昭和47年から子ども会や学校が中心となり学校プールの開放が開始された。

しかし、全国でプール事故が相次ぐ中、監視業務を警備業認定業者に委託しなければ開放できなくなり、監視員の確保等の問題から、平成25年度から常総運動公園プールの開放を開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

夏休み期間中の児童への安全な活動場所を提供するとともに、公共の場における公德心を養う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

夏休み期間中市内小学校児童に常総運動公園及びジョイフルアスレティッククラブ守谷プールで利用できる利用券1人3回分を発行し、安全な活動場所を提供するとともに自主的活動を支援する。

〔対象〕市立小学校全児童

〔期間〕夏季休業期間と常総運動公園屋外プール延長期間（9月第2日曜日まで）

〔利用可能施設〕常総運動公園屋外プール及び室内温水プール、ジョイフルアスレティッククラブ守谷プール



常総運動公園 屋外プール

10050104 市体育協会補助事業

予算書P. 227

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,600	2,000	△ 400	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,600	2,000	△ 400	

【背景(なぜ始めたのか)】

市民がスポーツに親しむことができ、技術の向上、健康増進と地域の親睦・融和を図るための組織として、昭和43年に「守谷市体育協会」が設立され、その補助事業として開始された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の健康増進と体力向上のため、各種運動競技の普及発展と競技力向上を目的に活動する体育協会の自主的な事業を支援し、市民交流とスポーツ活動の推進を図る。

また、市が主催するスポーツ大会やイベントへの協力などの積極的参画にも期待する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

補助金を交付し、各種スポーツ大会、技術講習会等の体育協会の活動を助成する。また、市民がスポーツ活動に参加することにより体力の向上及び健康増進を図るとともに、体育協会及び加盟団体の組織強化を支援する。

〔活動部会〕18部会（平成31年1月現在）



体育協会50周年記念イベント
(スポーツフェスティバルでのラジオ体操)



体育協会50周年記念式典

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	2,303	2,257	46	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	2,303	2,257	46	

【背景(なぜ始めたのか)】

青少年の健全育成と少年期におけるスポーツの楽しさを教えるため、昭和57年に「守谷市スポーツ少年団本部」が設立され、その補助事業として開始された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

各種運動競技の普及・発展、競技力向上と各少年団間の交流を目的に活動するスポーツ少年団本部の自主的な事業を支援し、青少年健全育成と児童の体力向上に寄与する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

- ・補助金を交付し、スポーツ少年団が主催する、各種スポーツ大会、技術講習会等開催費を助成する。
- ・守谷市の代表として出場する全国大会等遠征費を助成する。



スポーツ少年団交流会

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,000	3,000	0	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	3,000	△ 3,000	
一般財源	3,000	0	3,000	

【背景(なぜ始めたのか)】

ハーフマラソン大会を通じて新旧住民の親睦を図り、守谷市の知名度を高めるため昭和59年から実施され、その補助事業として開始された。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

守谷ハーフマラソンに多くの人に参加してもらうことで、幅広い年齢層の人々に健康増進をもたらすとともに、全国からの参加者に守谷市のすばらしさをPRする。

また、大会運営に多くのボランティアが参加しており、市民相互の交流を深める機会になっている。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

- ・毎年2月上旬に開催しており、ハーフマラソン・5km・3km・2kmの男女年代別の種目を設定し健脚を競い合う。
- ・ハーフマラソンについては、日本陸上競技連盟公認コースで茨城陸上競技協会の公認大会となっている。
- ・大会は、守谷市体育協会が主催し、市からの補助金の他、参加費及び企業協賛等により実施している。
- ・大会運営の係員は約800名で、体育協会会員や市民ボランティア等に協力を得ている。



第34回守谷ハーフマラソン
ハーフマラソンの部スタート

10050110 中学生富士登山事業

予算書P. 227

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,304	1,301	3	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	1,304	1,301	3	

【背景(なぜ始めたのか)】

中学生という多感な時期に、日本最高峰の富士登山にチャレンジすることで、青少年の健全育成とスポーツ振興を図るため、昭和61年度から実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学生が日本最高峰である富士山に登山することにより自然の素晴らしさを知り、仲間と協力し合うことの大切さを学ぶ。また、団体行動を通して、社会の一員としての自覚を養う。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市内在住の中学生と指導者が、15人ほどの班を作り協力し合いながら、1泊2日で富士山頂を目指す。

[実施日] 7月30日(火)・31日(水)

[対象者] 市内在住の中学生90名

[指導者] 市体育協会、市スポーツ推進委員、市内中学校教員、市職員等31名



第33回守谷市中学生富士登山
富士山頂での集合写真

10050111 国民体育大会開催事業

予算書P. 228

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	28,589	22,890	5,699	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	12,920	3,169	9,751	国民体育大会運営交付金
地方債	0	0	0	
その他	700	0	700	ふるさとづくり寄附金
一般財源	14,969	19,721	△ 4,752	

【背景(なぜ始めたのか)】

2019年度の第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」ハンドボール競技会を広く周知し、円滑に運営するため、共同開催地となる守谷市・常総市・坂東市が平成25年度から開催年度(2019年度)まで継続して国体開催に係る経費を負担することにより、大会運営を支援・推進する。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

2019年度の第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」開催の準備を進めるため、守谷市・常総市・坂東市がハンドボール競技共同開催地として必要な事業を行い、ハンドボール競技の普及とスポーツの振興に寄与するとともに、「いきいき茨城ゆめ国体守谷市市民協働推進アクションプログラム」に基づき、市民一人ひとりが国体に参加する機運を高め、市全体で国体を盛り上げ、協働のまちづくりの推進につなげる。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」ハンドボール競技会(守谷市・常総市・坂東市)が、2019年10月3日～7日に開催される。守谷市においては、10月3日～6日まで常総運動公園総合体育館を会場(成年女子)に開催される。これに伴い、守谷市・常総市・坂東市の共同開催により設置した3市合同の実行委員会事務局が、実行委員会の運営、広報、競技用具の整備、競技役員の配置、式典、市民協働、歓迎、おもてなし、宿泊・輸送などに関する総合的な業務を行う。守谷市においては、市民ボランティアの育成、学校・市民応援、花いっぱい運動の推進等、市民・関係団体との協働などの業務を行う。



花いっぱい運動の実践



応援のぼり旗

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,011	874	137	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	60	874	△ 814	スポーツフェスティバル出店負担金
一般財源	951	0	951	

【背景(なぜ始めたのか)】

平成22年度から平成27年度まで、3つの事業（健康福祉まつり・スポーツフェスティバル・老人スポーツ大会）を統合し、「健康スポーツフェスティバル」を開催していたが、地域福祉の市民への周知と啓発方法としての成果が期待できない、高齢者が参加を希望する種目が同時時間帯に重なり参加しづらい等の理由で、平成28年度から、老人スポーツ大会、スポーツフェスティバルが単独開催となり、健康福祉まつりは平成27年度をもって終了した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

- ・スポーツを通じてスポーツの楽しさを体験する。
- ・若年層から高齢者層まで世代を超えた交流およびスポーツや健康づくりの機会を提供し、地域で誰もが安心して暮らせるよう健康増進を図る。
- ・多くの市民の健康づくりに対する意識の向上を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

10月の第4週の日曜日に、常総運動公園で実施

【イベント内容】

小・中学校対校親善リレー、輪投げ、キックターゲット、グラウンドゴルフ体験、健康ウォーキング教室、サイクルトライアル、コンピュータ健康測定、プール無料開放 ポニー乗馬体験 他



小・中学校対校リレー



バランスコンディショニング